

六ヶ所村

—シリーズ— <最終回>
「尾駱の駒・牧の背景を探る」

歴史フォーラム2017



青森県

「古代・小川原湖と“尾駱の牧”

—人・物・情報の交流について考える—

平成29年8月27日(日)

(午前10時30分～午後4時00分まで)

◇基調報告① (11:00～25分)

「陸奥湾東岸域(野辺地地区)の環濠集落

—“二十平(1)遺跡”を中心として—

青森県考古学会 副会長

瀬川 滋 氏

◇基調報告② (11:30～25分)

「三沢市“平畑(1)遺跡”の特徴について」

三沢市教育委員会生涯学習文化振興係 専任員

長尾 正義 氏

◇基調講演 (13:20～70分)

「“尾駱の牧”“糠部の駿馬”をめぐる、
人・物・情報の交流について」

東北大学名誉教授・(現)一関博物館館長

入間田 宣夫 氏

「尾駱の牧」歴史研究会 推奨!

「おぶちの牧」弁当、ご賞味あれ!

おぶちの駒 だまや

電話 0175-72-2477



梅— 1,000円



竹— 1,300円



松— 1,500円

◇オープニングアクト

(10:40～15分)

管絃舞楽

左方の舞

まんざいらく
「萬歳楽」

◇エンディングアクト

(15:45～15分)

管絃演奏・謡物

おうしきちようねとり
「黄鐘調音取」

「越殿楽」 & 「越殿楽今様」

◇民俗郷土芸能「泊神楽」

(13:00～15分)

◇パネルディスカッション

(14:35～60分)

◇六ヶ所村文化交流プラザ

・スワニー(大ホール)

◇入場料 無料

◇主催/六ヶ所村「尾駱の牧」歴史研究会

<ホームページアドレス obuchinomaki.com> ◇会長携帯No.: 090-3752-0935

<協賛> 六ヶ所村まちづくり協議会・(株)北商物産・(有)平成運送・トーヨー工業(株)・祭や・スマイル古川店・(有)遠田秋月堂
<後援> 六ヶ所村・六ヶ所村教育委員会・一般財団法人 六ヶ所村文化振興公社(協賛)・六ヶ所村立郷土館・21 六ヶ所村を考える会
青森県文化財保護協会・公益財団法人 馬事文化財団・一般財団法人 賀茂県主同族会・賀茂競馬保存会・青森市教育委員会
八戸市教育委員会・弘前市教育委員会・十和田市教育委員会・三沢市教育委員会・七戸町教育委員会・野辺地町教育委員会
六戸町教育委員会・おいらせ町教育委員会・東北町教育委員会・横浜町教育委員会・東奥日報社・デーリー東北新聞社

六ヶ所村「尾駱の牧」歴史研究会

「六ヶ所村 歴史フォーラム2017」開催実施要項

1. 目的

当会設立以来の研究テーマである、当地が“尾駱の牧”の比定地であり、平安時代、馬の交易によって京の都とつながっていたのではないかという歴史的背景へ、より具体的且つ学術的に近づくため、村外の著名な講師陣をお招きし、その専門的な立場から意見を述べてもらい、その学術的研鑽を、後世への知的財産として蓄積することを目的として開催する。併せて、当村の薫り高い歴史文化の新たな側面を、村内外へ情報発信することを目的とする。

2. 発表の要旨

今フォーラムは、シリーズ化したテーマ「尾駱の駒・牧の背景を探る」の最終回として、特に今年テーマは、その「尾駱の牧」の実在を探るべく、後世における「糠部の牧」の存在やそのルートの解明、また文化の入り口ともいえる古代・中世における小川原湖の果たす文化的役割、その機能を探るべく、今年も、考古学研究の立場と歴史学研究のそれぞれの立場から詳細に報告・検証してもらい、その実態に迫って見るものである。

そこで、まずは、二氏の基調報告から、平安時代の中期・末期を通し、小川原湖を南北から挟む形で立地する「二十平(1)・平畑(1)遺跡」の、その特異な遺物事例について報告してもらい、両遺跡の古代における文化的特性について考察する。

また、基調講演「“尾駱の牧” “糠部駿馬” をめぐる、人・物・情報の交流について」では、小川原湖を含めた海岸ルートの幹線ルートの存在を明らかにし、中世「糠部の牧」もしくは、それ以前の「尾駱の牧」地方について考察する。

そして最後に、パネルディスカッションとして、本テーマに迫るべく、ディスカッションする。

3. 開催日時 平成29年 8月 27日(日) 午前10時30分～午後4時00分まで
4. 会場 六ヶ所村文化交流プラザ・スワニー「大ホール」
5. 入場料 無料
6. 主催者 六ヶ所村「尾駱の牧」歴史研究会
7. 主な日程と内容 「六ヶ所村 歴史フォーラム2017」

10:30 ~ 10:35	1. 主催者挨拶
:35 ~ :40	2. 来賓祝辞
10:40 ~ 10:55 (10:55~11:00)	3. オープニングアクト (15分) 管絃舞楽・左方の舞「萬歳楽(まんざいらく)」 〔休憩 5分〕
11:00 ~ 11:25	4. 基調報告① (25分) 「陸奥湾東岸域(野辺地地区)の環濠集落 — “二十平(1)遺跡” を中心として—」 (青森県考古学会副会長：瀬川 滋 氏)
(11:25~11:30)	〔休憩 5分〕
11:30 ~ 11:55	5. 基調報告② (25分) 「三沢市“平畑(1)遺跡”の特徴について」 (三沢市教育委員会生涯学習文化振興係 専任員：長尾 正義 氏)
(11:55~13:00)	〔昼食 65分〕
13:00 ~ 13:15	6. 民俗郷土芸能「泊神楽」 (15分) 〔泊神楽保存会〕
(13:15~13:20)	〔休憩 5分〕
13:20 ~ 14:30	7. 基調講演 (70分) 「“尾駱の牧” “糠部の駿馬” をめぐる人・物・情報の交流について」 (東北大学名誉教授、現・一関博物館館長：入間田 宣夫 氏)
(14:30~14:35)	〔休憩 5分〕
14:35 ~ 15:35 (15:35~15:45)	8. パネルディスカッション (60分) ※内、質疑応答 15分 〔休憩 10分〕
15:45 ~ 16:00	9. エンディングアクト (15分) 管絃演奏「黄鐘調音取」「越殿楽(えてんらく)」 謡物「越殿楽今様(えてんらくいまよう)」